

事務事業名 保護司会補助事業

出力日：令和02年03月19日

キーコード：151

施策：	15	地域福祉の推進	財務コード	01030101-03-00
基本事業：	99	施策の総合推進	担当部	健康福祉部
基本事業の 成果指標			担当課	生活福祉課
			担当係	地域福祉担当



事務事業が貢献すべき成果

計画年度	～		新規・継続	継続	会計区分	一般会計	実施計画			
1. 対象（誰、何に対して事業を行うのか）			2. 手段（事務事業の内容、やり方、手順）							
筑紫野市保護司会			筑紫野市保護司会の運営を支援する。 【保護司会の主な活動内容】 ・保護観察になった人への助言や指導 ・刑務所や少年院などに入っている人の出所後の生活環境などの調整 ・「社会を明るくする運動」など地域での犯罪予防の啓発活動 ・「社会を明るくする運動」推進大会は、全ての国民が、犯罪や非行の防止とあやまちを犯した人の更正について理解を深め、それぞれの立場において力を合わせ、安全で安心な地域社会を築くことを目的としている。市内中学生に司会進行等の手伝いをしてもらい、講演等の啓発を行っている。							
3. 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）										
罪を犯した者の保護監督と犯罪のない社会を構築するため、保護司会の活動を支援する。										
4. 成果（簡易評価は未記入）										
成果指標名称		単位	29年度 実績	30年度 実績	01年度 当初	02年度 要求	03年度 計画	04年度 計画	目標	
保護司会会員数		人	18	19	20	20			20	
大会参加者数		人	271	0	300	300			300	
5. コスト										
事業費		計	千円	250	250	250	250			
		国	千円	0	0	0	0			
		県	千円	0	0	0	0			
		地方債	千円	0	0	0	0			
		その他 一般	千円	0	0	0	0			
正職員人工数		人工	0.2	0.35	0.27					
正職員人件費		千円	1,599	2,831	2,178					
トータルコスト(事業費+正職員人件費)		千円	1,849	3,081	2,428	250				
6. 成果状況及びコメント（簡易評価は未記入）										
あがっている どちらかといえばあがっている あがっていない（停滞・低下）	平成26年度から、社会を明るくする運動についてチラシ配布等による啓発のみでなく、推進大会による啓発を進めている。 平成30年度「社会を明るくする運動」推進大会は、平成30年7月豪雨のため、中止となった。									
7. 評価及びコメント（簡易評価は未記入）										
対象動向	維持	類似事業	なし	罪を犯した者の更生や社会復帰を助け、犯罪の予防活動の役割を担う保護司会の存在は大きい。						
手段効率化余地	なし	コスト削減余地	なし							
公的関与	妥当性がある	受益者負担	余地なし							
上位貢献度	影響度は小	業務推進課題	なし							
成果向上余地	中程度									
8. 改善改革案（簡易評価は必要な場合のみ記入）						改善方向性	維持	見直し	廃止	事業終了
改革案/期待する成果/必要性/推進スケジュール/必要な費用（維持/事業終了の場合は記入する必要なし）										
事業開始背景及び現在の環境変化（市民・議会等の要望）										
備考・特記事項 or 進行管理欄										
法務大臣から委嘱された保護司は、罪を犯した者の更生と社会復帰を助け、犯罪のない明るい社会づくりが主な任務である。平成25年度から生涯学習課が補助していた活動助成金9万円を統合している。										